

## ポジモを設置・固定する方法の一例

Ver. 1.0

2013/4/30

株式会社ネクステック



## 目次

0. はじめに .....	- 3 -
1. ポジモ(背面)クランプ箇所 寸法図 .....	- 4 -
2. スタンド製作例 .....	- 5 -
3. 針金による締め付け .....	- 8 -

## 0. はじめに

本書は、電源自給型可搬無線データ通信装置「ポジモ」の設置、固定方法の一例を示したもので、本書による設置方法の強度、対環境性能について保証するものではありません。

ポジモの設置にあたっては、お客様が設置する場所に合わせてご検討の上、最適な方法での設置をお願いいたします。

本書でご紹介する設置方法により、お客様に不都合が発生した場合でも、弊社が責任を負うことはできませんので、ご了承ください。

本書は、予告なく改定または公開中止をすることがあります。

※「ポジモ」及び「poggimo」は、株式会社ネクステックの登録商標です。

※「イーサネット」「イーサーネット」「ETHERNET」は富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

## 改版履歴

Ver. 1.0	2013/4/30	初版発行

## 1. ポジモ(背面)クランプ箇所 寸法図

ポジモの背面には、単管や塩ビ管に挟み込むことができる「クランプ」が合計で8箇所付いています。その配置は、図-1 のようになります。

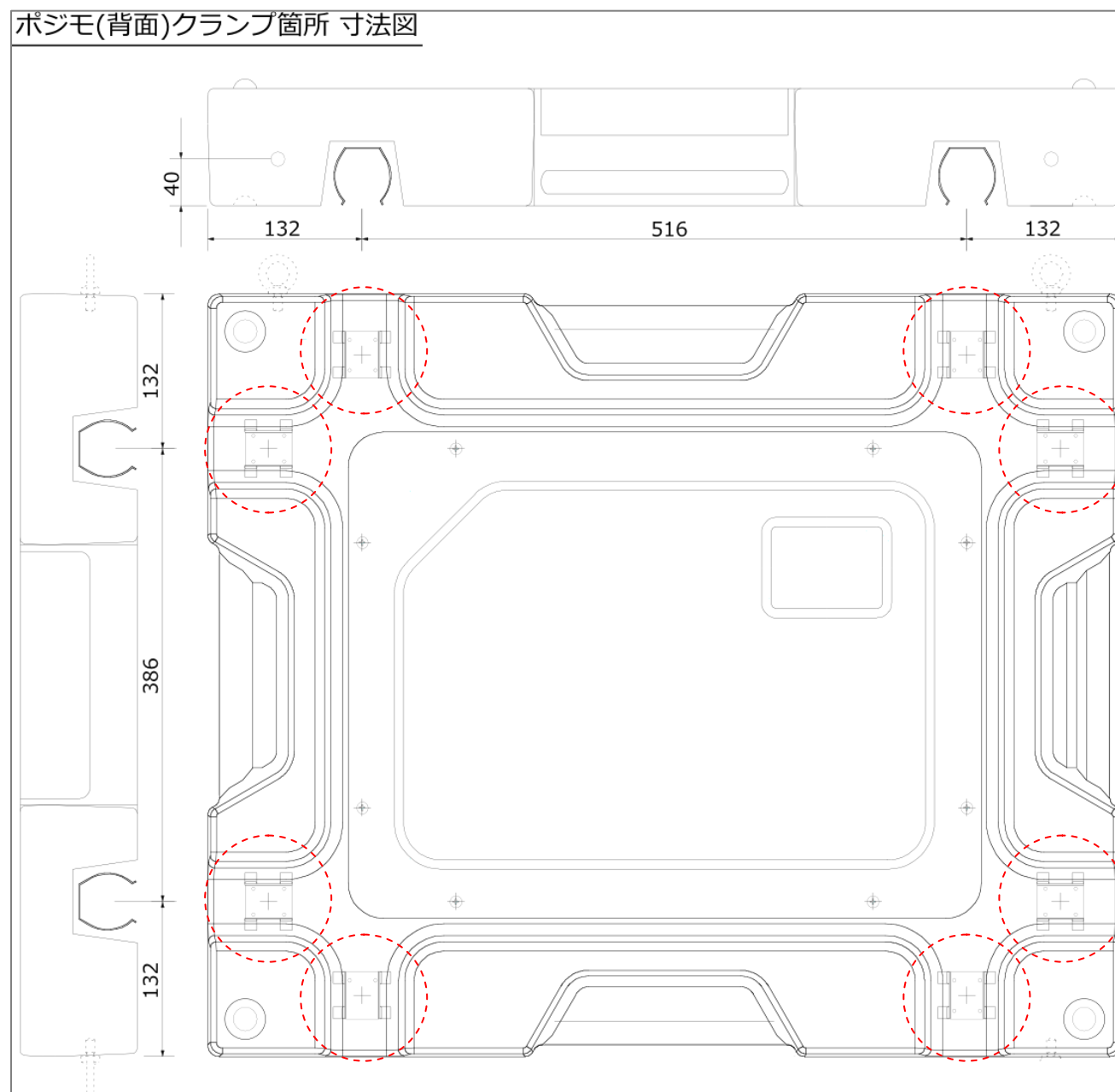


図-1 ポジモ(背面)クランプ箇所 寸法図

このクランプの箇所を、単管や塩ビ管で作った支柱にはめ込んでポジモを固定します。適合する単管、塩ビ管の規格は次のとおりです。

表-1 ポジモ支柱適合管

種別	規格
一般構造用炭素鋼鋼管	JISG3444 3 種 STK51 (48.6 $\phi \times$ 2.4) 相当
塩化ビニル管	JIS K-6741-1995 VP40 JIS K-6742-1993 VPW 40 相当

## 2. スタンド製作例

図は、ポジモの試作機(製品とは寸法が若干異なる)用に使用していたスタンドの部品を流用し、現行のポジモに使用出来るように製作したスタンドです。

このスタンドでは、2種類の塩ビ管(VP管、VU管 / 後述)を使用しています。

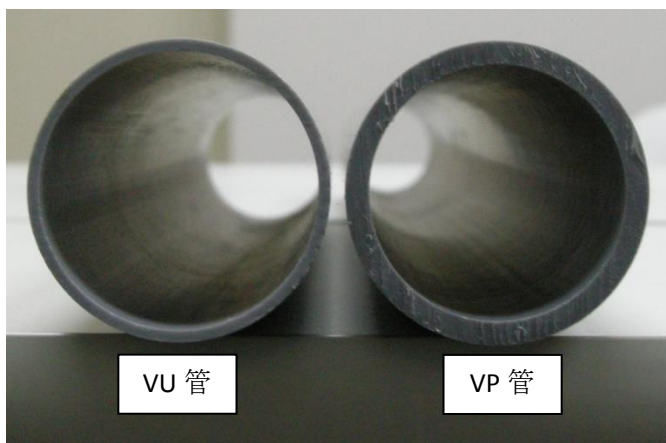


図-2 VU 管と VP 管

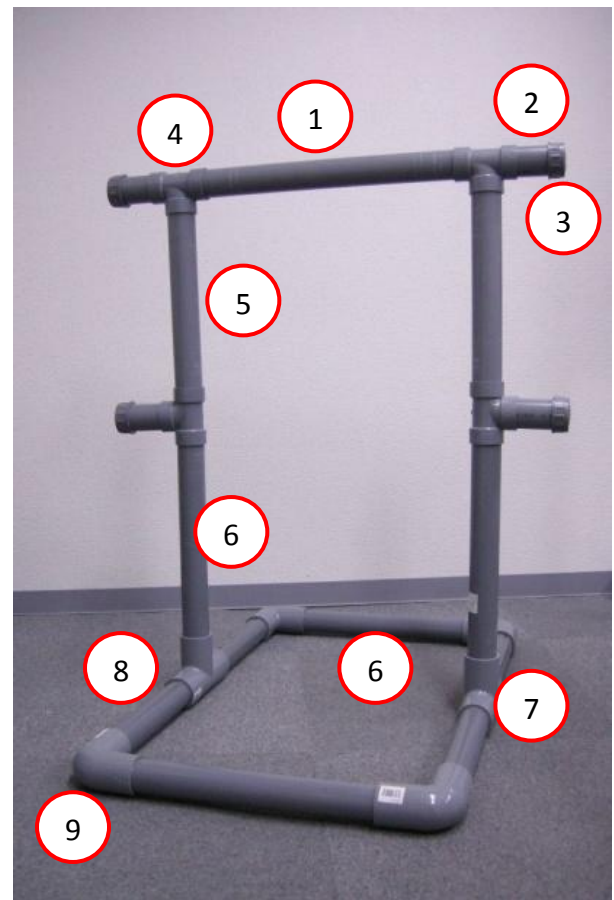


図-3 スタンド製作例

9種類の異なる長さ/パーツを使っています。各パーツの長さ、仕様は表-2、図-4をご覧ください。

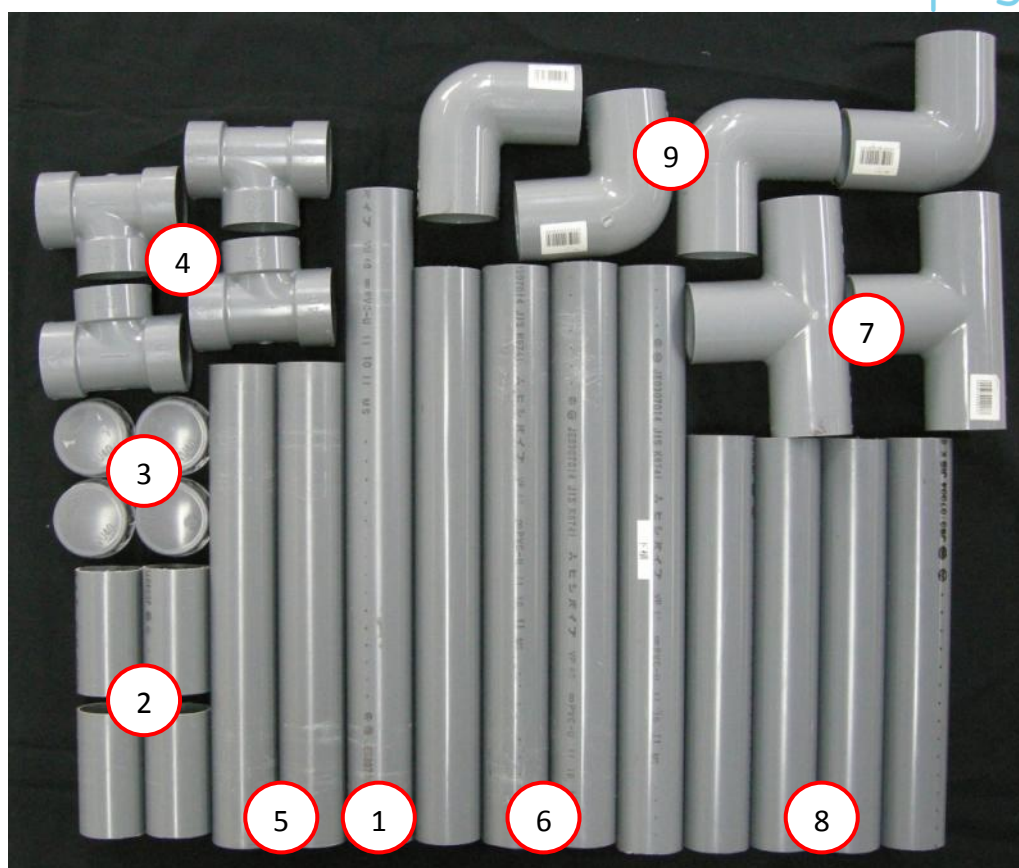


図-4 パーツ図

表-2 パーツ一覧

番号	規格(呼び)	数量	長さ・備考
1	VU40	1	460mm
2	VU40	4	90mm
3	VU40 キャップ	4	
4	VU40 チーズ継手	4	
5	VU40	2	340mm
6	VP40	4	410mm
7	VP40 チーズ継手	2	
8	VP40	4	295mm
9	VP40 エルボ継手	4	

上記のパーツを、図-3 の形になるように、繋ぎ合わせるとスタンドが完成します。繋ぎ合わせには、塩ビ管用の接着剤を使用します。

完成図は、図-5 になります。



図-5 完成・取り付け図

※本製作例では、手元の部材をそのまま使用したために、スタンドの下方の幅が若干狭くなっています。

※塩ビ管は、安価に入手しやすい反面、長い期間屋外で使用すると劣化し、破損しやすくなります。本格的にポジモを長期間利用する場合は、金属管での設置を推奨します。



### 3. 針金による締め付け

クランプを利用した締め付け例を、図-6 に示します。

直径 0.9mm の針金での固定例ですが、十分な強度を得ることができています。長期間の締め付けが必要な場合は、もう少し太めの針金のほうが、より安全と思われます。

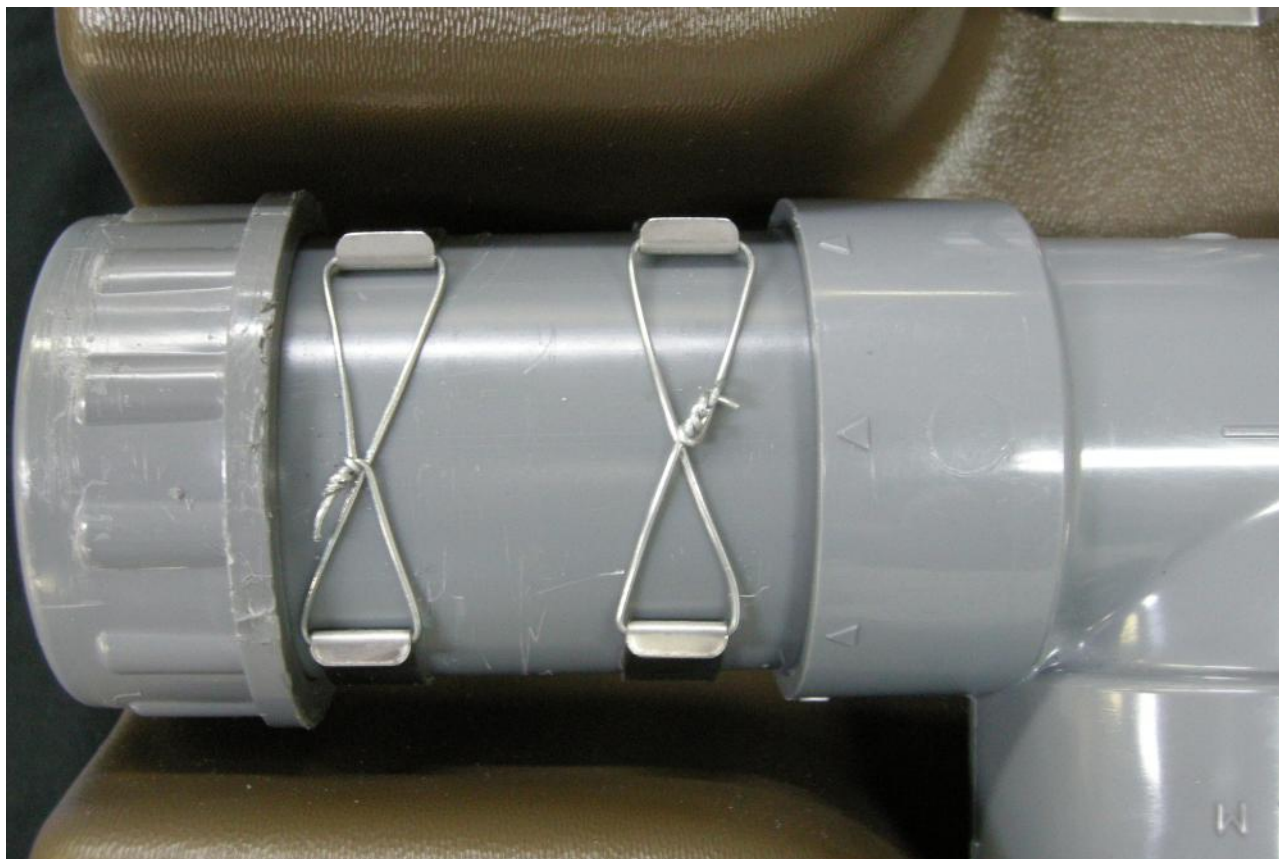


図-5 クランプの先を針金で締める例

以上、ポジモの固定方法について、ご紹介いたしました。